

令和2年度 事業報告

〈令和2年度西区社会福祉協議会の取組〉

令和2年度は、災害ともいえる新型コロナウイルス感染拡大により、私たちの日々の暮らしは大きく変化しました。私たち区社会福祉協議会の事業も含め、様々な地域で取り組まれていた福祉活動も縮小や休止を余儀なくされる状況となっています。

このコロナ禍で人と人の繋がりが薄れていく中、生活に関する不安や長期化する自粛生活等から困りごとが声として上がるようになり、これまでは見えてこなかった課題が表面化してきています。

西区社協では、この顕在化した区内の生活課題を捉えるとともに、地域で取り組まれている見守り活動や支えあい活動の在り方を検討し、生活支援体制整備事業や生活困窮者への対応等に積極的に取り組みました。また、地域活動については「今できる形の活動」への再開へ向けて、地域の皆さまや関係機関の方々と進めました。

各分科会の開催や研修会、講演会等につきましても感染拡大防止のためオンラインでの発信やDVDでの報告等を実施しネットワークの構築に努めました。

I 地域における支え合いの仕組みづくりの支援（重点項目）

1 生活支援体制整備事業の推進

地域包括ケアシステムの構築に向け、区役所や地域ケアプラザとともに、「誰もが住み慣れた地域で生きがいや役割を持ちながらいきいきと暮らし続けられるよう、地域、NPO、社会福祉法人、民間企業等の多様な主体が連携・協力した地域づくり」を目指しました。

(1) 第2層生活支援コーディネーターとの連携及び支援

①西区生活支援コーディネーター連絡会の実施

各地区や地域ケアプラザ内での進捗状況確認並びに区域での連携した地域づくりに向けて検討しました。

日 程： 原則毎月第2水曜日(年 12 回)

場 所： 西区福祉保健活動拠点「フクシア」

参加者：生活支援コーディネーター、区役所職員

内 容： 生活支援体制整備事業推進のための情報共有や意見交換

②第2層協議体等への出席

各地域ケアプラザでの課題解決に向けた検討会や新たな資源開発に向けた協議体等に参加しました。

10事業 計36回

(2) 第1層生活支援コーディネーターの取り組みについて

①事業推進に向けた地域ケアプラザ・区役所との協働

以下の会議の運営に携わりました。また、地域ケアプラザにおいて全職種で連携し事業推進するため、地域ケアプラザ版推進会議に参加協力しました。

1)区レベル推進会議の開催 2回

2)各地域ケアプラザレベル推進会議への参加 12回

3)市レベル推進会議への出席 12回

4)第1層コーディネーター連絡会への出席 12回

②介護予防・生活支援サービス補助事業の支援

1)運営団体の支援

状況の把握と活動推進に向けて、運営団体と関係機関で検討を行いました。

	第1回	第2回
日時・場所	6月11日(木)・西区役所	12月18日(金)・ばあばの家あさだ
参加者	ばあばの家あさだ、藤棚地域ケアプラザ、宮崎地域ケアプラザ、区、区社協 計7名	ばあばの家あさだ、藤棚地域ケアプラザ、宮崎地域ケアプラザ、区、区社協 計9名
内容	現状・課題の共有・今後の推進に向けて	取組状況の振り返り・今後の推進に向けて

③ハマボノ(ヨコハマプロボノ)を活用した地域活動支援

ハマボノのしくみを活用し、地域ケアプラザと共に次の取組を進めました。

- 1) 団体名: 移動支援バス「おでかけ3」実行委員会
テーマ: ホームページの作成
- 2) 団体名: ばあばの家
テーマ: 活動運営マニュアルの作成

④“つながり”が生み出す にこやかな暮らし2020～身近な地域の取組紹介～開催

体制整備事業として新たに立ち上がった2つの取組事例の紹介を通し、広く地域に周知し新たな資源開発につなげるきっかけづくりとして開催しました。

日にち: 11月27日(金) 14:00～16:00

講師: 菱沼幹男氏(日本社会事業大学社会福祉学部准教授)

内容: 導入講話

取組紹介(伊勢一サロン/ 藤棚ハイツ支援の会)

生活支援コーディネーター紹介

主催: 区社協・区役所・区内地域ケアプラザ

実施方法: 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催当日に無観客での実施に変更して実施

(当日はビデオ撮影し、WEB講演会として配信すると共に参加予定者へDVDを送付しました)



2 身近な地域のつながり・ささえあい活動推進事業の推進

全職員がコミュニティソーシャルワークの視点で個別課題の発見と地域支援体制づくりを目指して業務に取り組みました。また、地域ケア会議へ参加し、地域ケアプラザや区と共に課題共有や解決に向けて取り組みました。

(1) 個別ケースの発見と対応

区社協が行う個別支援事業(あんしんセンター、生活福祉資金、ボランティア、送迎サービス、移動情報センター)では他業務担当や地区担当との連携により、困難を抱えた方の課題解決に向け取り組みました。

また、地域包括支援センター定例カンファレンスや地域ケア会議等に出席し把握した困難ケースについて、職員会議等で年間を通じて随時協議を行いました。

3 地区社協活動の推進支援

地域福祉活動の中核を担う地区社協が地域の様々な活動団体の協議体としての役割を発揮し、地域課題の解決に向けた活動が展開できるよう、地区社協の組織運営や活動の支援、研修、助成を行いました。

(1) 地区社協活動の運営・活動支援

①地区社協研修の実施

1) 地区社協研修会 [区社協主催研修]

地区社協の体制強化や活動の充実に向けて、つぎの研修を開催しました。

月日・場所	内容	開催方法
11月27日(金) 「フクシア」	【地区社協分科会・生活支援体制整備事業 共催】 つながりが生み出すにこやかな暮らし2020～身近な地域の 取組紹介 〈講師〉：菱沼幹男氏(日本社会事業大学社会福祉学部准教授) 〈内容〉 発表団体 ①伊勢一サロン ②藤棚ハイツ支援の会	オンライン配信

※よこはま地域福祉フォーラム、よこはまの地区社協全体会、にこまち講座については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施いたしませんでした。

②地区社協活動費の交付・助成

地区社協活動の充実に向け、安定した財源を確保するために助成金を交付しました。

〈地区社協助成金〉

項目	内容	財源
【活動運営費】	300 千円 6地区	市社協補助金
	210 千円 6地区	共同募金配分金
	159 千円 6地区	賛助会費還元金
【活動事業費】	地区社協事業 1,550 千円 6地区	共同募金配分金
	親子ふれあい会事業 75 千円 3地区	共同募金配分金
	地区社協研修費 30 千円 1地区	共同募金配分金
	高齢者見守り活動交流会 18 千円 2地区	共同募金配分金
【小地域活動応援金】	900 千円 6地区	福祉基金
【年末たすけあい募金配分】	600 千円 6地区	年末たすけあい募金助成配分

③地区アセスメントシートの活用

地区社協支援に向け、地区ごとの社会資源や情報を集約したデータを更新し、区・地域ケアプラザと共有・活用しました。

(2)地区社協分科会の開催

地区社協の体制強化や活動の充実に向け、地区社協会長・地区社協事務局長等を対象とした分科会を開催し、地区社協間の情報交換や課題検討等を行いました。18区の地区社協代表者で集い、地区社協活動の活性化に向けて話し合う場「地区社協検討会」と連動し分科会活動を進めました。（詳細はP24）

4 地域ケアシステムの推進支援

(1) 地域ケア会議への参加

各地域ケアプラザで開催された地域ケア会議に出席し、具体的対応についてのケース検討を行いました。

【身近な地域のつながり・支えあい活動推進事業へも記載】

開催ケアプラザ	月日	内容	出席職員数
宮崎地域ケアプラザ	7月27日(月)	地域ケア会議(包括レベル)	1名
	3月26日(金)	地域ケア会議(個別レベル)	1名
戸部本町地域ケアプラザ	10月12日(月)	地域ケア会議(包括レベル)	2名
区役所	11月13日(金)	地域ケア会議(区レベル)	書面開催

(2) 地域ケアプラザとの連携

①地域活動交流コーディネーター連絡会の開催

地域ケアプラザと連携した地域支援を進めていくために、地域活動交流コーディネーター連絡会を開催し、地域情報等の共有や情報交換などを行いました。

月日・場所	内容	人数
4月24日(金) 西区役所	緊急事態宣言に伴い中止	—
5月22日(金) 宮崎地域ケアプラザ	緊急事態宣言に伴い中止	—
6月26日(金) 戸部本町地域ケアプラザ	○自主事業、貸室状況等について意見交換 ○研修計画について	8名
7月31日(金) 浅間台地域ケアプラザ	○グラフィックレコード研修について ○サブコーディネーター研修企画について ○にこまちプラン 子ども向け啓発事業について ○コロナ禍におけるボランティア活動へのヒントについて	8名

8月28日(金) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	○自主事業／貸室のコロナ対応について ○第4期にこまちプラン策定スケジュールについて ○コーディネーター研修について	6名
9月24日(木) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	○コーディネーター研修「グラフィックレコード研修」打合せ ○サブコーディネーター研修企画について	6名
9月25日(金) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	○「グラフィックレコード研修」	11名
10月23日(金) 西区役所	○自主事業／貸室のコロナ対応について ○サブコーディネーター研修企画について ○にしく元気プロジェクトについて ○グラフィックレコード研修 ふりかえり	9名
11月30日(月) 区役所前広場	○にしく元気プロジェクト 区内4ヶアプラザのPR およびヶアプラザで活動するボランティアによる手芸作品の展示とバザー販売	5名
12月25日(金) 藤棚地域ヶアプラザ	○自主事業、貸室状況等について意見交換 ○サブコーディネーター研修について ○にしく元気プロジェクト ふりかえり	5名
1月22日(金) 戸部本町地域ヶアプラザ	○自主事業、地域活動状況等について意見交換 ○第4期にこまちプランについて ○助成金／寄付物品 情報提供 ○次年度の地域活動交流連絡会のあり方について	8名
2月26日(金) 戸部本町地域ヶアプラザ	○各ヶアプラザボランティア交流会について意見交換 ○第4期にこまちプランについて ○寄付物品 情報提供 ○次年度の地域活動交流連絡会のあり方について	7名
3月25日(木) 宮崎地域ヶアプラザ	○次年度事業について ○にこまちプラン 子ども向け啓発事業 ふりかえり ○ボランティアセンター事業について	7名

②地域ヶアプラザサブコーディネーター研修の開催

地域活動交流部門のスキルアップと、区内地域ヶアプラザ間の連携や交流を目的に企画しましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため次年度へ延期となりました。

③地域ヶアプラザ所長会への参加

区役所、区社協、地域ヶアプラザとの情報交換を目的とした西区地域ヶアプラザ所長会に事務局長が参加しました。(年6回)

Ⅱ ボランティア活動の推進・支援(重点項目)

1 ボランティア活動に関する相談・登録・調整・情報提供

(1) ボランティア相談・登録・調整

ボランティアを必要としている方とボランティア活動をしたい方からの相談を受け、相互の調整を図りました。活動後に双方へ聞き取りを行い、継続的な依頼・活動につなげました。

① ボランティア登録

ボランティア活動を希望する個人及びグループに登録を依頼し、ボランティア講座の情報提供やニーズ紹介を行いました。

	個人（人）			ボランティアグループ	
	男性	女性	計	グループ数	人数
新規登録者(R2)	10	27	37	5	138
前年度新規登録者	21	30	51	9	120
累計 (R3年3月末現在)	101	132	233	118	2368

② 単発依頼

	依頼 件数	紹介 件数	調整中	調整 つかず	取り下げ	紹介 人数	調整数	対応率	前年度 対応率
児童	3	2	0	0	1	1	2	67%	71%
障害	15	14	0	0	1	12	24	93%	62%
高齢	109	94	4	1	9	173	111	86%	90%
外国人	0	0	0	0	0	0	0	-	-
限定せず	4	3	0	1	0	5	10	75%	100%
その他	5	4	0	0	0	8	10	80%	88%
R2合計	136	117	4	2	11	199	157	86%	87%
R元合計	157	136	4	6	7	278	298		
比較増減	△21	△19	0	△4	4	△79	△141		

③ 継続依頼

	依頼 件数	紹介 件数	調整中	調整 つかず	取り下げ	紹介 人数	調整数	対応率	前年度 対応率
児童	2	1	1	0	0	4	12	50%	33%
障害	6	3	3	0	0	13	26	50%	50%
高齢	9	5	1	0	2	4	13	56%	75%
外国人	0	0	0	0	0	0	0	-	-
限定せず	0	0	0	0	0	0	0	-	50%
その他	2	0	1	0	0	0	0	0%	0%
R2合計	19	9	6	0	2	21	51	47%	55%
R元合計	38	21	13	2	1	65	124		
比較増減	△19	△12	△7	△2	1	△44	△73		

(2) ボランティアニーズの把握

ボランティア活動を希望する方への情報提供のため、地域ケアプラザや特別養護老人ホーム等にボランティア募集状況等の聞き取りを行いました。

(3) ボランティアセンター情報の発信

ボランティア活動に関する情報をまとめ提供(発信)しました。

区社協広報紙 「もくせい」	区民に福祉への理解や関心を深めるため、区社協事業や地域福祉活動・ボランティア活動を紹介しました。 年2回発行、各43,500部。タウンニュース紙面上に掲載。その他関係機関に送付。
西区ボランティアセンターニュース 「花スイセン」	ボランティア募集情報やボランティア各種講座のお知らせ、ボランティア団体の活動紹介などを掲載しました。 年4回発行、各800部。登録ボランティア及びその他関係機関、区社協会員に送付。
ホームページ	ホームページ内で、ボランティアニード情報、講座・イベント情報の専用ページを設け、ボランティア募集や助成金の案内など随時最新情報を掲載しました。

2 ボランティア・市民活動への育成・支援

(1) ボランティア活動者の育成

① ボランティア活動についての啓発

ボランティア活動・地域活動への参加を促すことを目的に企画・実施しました。

月日・場所	内容	人数
秋季	手話入門連続講座 「手話サークル西」と共同開催	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、R3年度へ延期
10月20日(火) にしとも広場	「知りたい！聞きたい！始めたい！ボランティア入門講座」 自己紹介、ボランティアのイロハ、「車いすの押し方を学ぶ」から学ぶ、ボランティア保険紹介、実際の活動紹介	6名
1月15日(金) 福祉保健活動拠点 フクシア	「つながる！ボランティア入門講座」 ※上記入門講座と、退職後またはこれから定年を迎える男性などを対象に、地域での仲間づくりやボランティア活動へつながるきっかけづくりとして例年開催する『ハマのオヤジゼミナール』事業と兼ねて企画しました。	※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、R3年度へ延期

(2) ボランティア活動者の育成

① ボランティア活動保険等の受付

安心してボランティア活動が行えるよう、ボランティア関係の保険についてご案内と受付を行いました。

保険名	ボランティア活動保険	ボランティア活動 行事用保険	福祉サービス総合補償
R2年度(件数)	72 (うち天災プラン12)	123	6
R元年度(件数)	115 (うち天災プラン35)	229	5
比較増△減	△43	△106	△1

※上記の他、ボランティア活動者の支援に向けた『ボランティア交流会』や『ボランティアの学び舎シリーズ』の各種講座は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止いたしました。

(3) フードドライブ活動(食料支援)の推進

各家庭にある使い切れない未使用食品について、食品を必要としている団体にお渡しする「フードドライブ」活動を実施しました。

寄附受付期間	寄附件数	配分団体数	主な配分先
第1回: 7月1日～7月15日	9件(173点)	5団体	高齢者食事会、多世代交流サロン、認知症カフェ、こども食堂、青少年支援施設等
第2回: 12月1日～12月15日	17件(343点)	9団体	
第3回: 3月1日～3月15日	19件(176点)	9団体	
合計	45件(692点)	23団体	

※今年度より、資源循環局西事務所のフードロス活動と連携して実施しました。

(4) ボランティアセンター機能の強化

① 職員のスキルアップ

各種研修や勉強会等に職員が参加するほか、毎月1回程度職員間でのミーティングを行い、ボランティア活動やニーズ収集・対応、ボランティア団体との関係構築等のスキルアップにつなげました。

② ボランティアセンター運営委員会の開催

ボランティアセンター業務の運営、ボランティア活動の振興、寄附金品の受付・配分等を審議するため、ボランティアセンター運営委員会を2回開催いたしました。(詳細はP26参照)

(5) ボランティア・市民活動分科会の定例開催

区社協会員のボランティアグループ・市民活動団体同士の情報交換と、区社協からの情報提供を行うために、コロナ禍の情勢を見ながら開催しました。(詳細はP25参照)

(6) 善意銀行の運営

区民の団体や個人の方からの寄附金品を受け付け、寄付者の意向に基づき地域の福祉活動等のために活用しました。ボランティアセンター運営委員会において審議の上配分をしています。

① 寄託

内容	件数	合計
金銭寄付	17件	10,174,186円
物品寄付	19件	車椅子、除菌スプレー、マスク、カレンダー タオル、文具 他

(詳細はP33 別表5を参照)

② 配分

内容	件数	合計
金銭配分	124件	・ジョンソン株式会社寄附金配分金 @50,000×47 団体=2,350,000 @70,000×76 団体=5,320,000 区社協(ふれあい会 53 団体支援・事務費含む) 配分金合計 10,000,000円
物品配分	131件	福祉関係施設、ボランティアグループ 当事者団体等へ配分

3 ボランティア・市民活動への財政支援

(1) 西区社協ふれあい助成金

より豊かな市民社会の実現のために、市民の自発性のもと、西区内もしくは横浜市内で行われる非営利な地域福祉推進事業や障害福祉推進事業の支援を目的として実施しました。配分については、助成金等審査委員会にて審議し決定しました。

助成区分	件数	金額
要援護者支援区分(集いの場活動)	17件	1,566,000円
要援護者支援区分(家事・生活支援活動)	1件	160,000円
要援護者支援区分(配食活動)	2件	320,000円
障害児者支援区分(当事者活動)	5件	335,000円
障害児者支援区分(宿泊・日帰りハイク活動)	1件	50,000円
障害児者支援区分(視覚聴覚障害者支援活動)	1件	50,000円
福祉のまちづくり区分	11件	380,000円
健康増進区分	1件	10,000円
新規立ち上げ区分	1件	40,000円
合 計	40件	2,911,000円

(詳細はP29別表1を参照)

(2) 西区社協会員助成金

区社協正会員が行う地域福祉活動及び地域における公益的な取組に対して助成金として配分しました。配分については、助成金等審査委員会にて審議し決定しています。

助成区分	件数	金額
地域福祉・地域貢献事業助成	2件	200,000円
合 計	2件	200,000円

(詳細はP30別表2を参照)

(3) 年末たすけあい募金の配分

地域の皆さまの協力により集まった「年末たすけあい募金」を、西区内における年末時期の様々な福祉活動に活かし、福祉のまちづくりを推進するため、助成金として配分しました。配分については、助成金等審査委員会にて審議し決定しています。

助成区分	件数	金額
年末たすけあい募金助成金	11件	815,000円

(詳細はP31別表3を参照)

(4) にこまち助成金の配分

横浜市に寄附された約1億円を財源とし平成22年に設置された「にこまち基金」事業として、にこまちプラン(西区地域福祉保健計画)を推進していく活動を支援するため、つぎの団体へ助成しました。

(①申請金額が5万円以下のもの(会長決裁で決定) ②申請金額が5万円を超えるもの(審査委員会))

申請区分	団体数	助成金額	
A区分 (まちづくり)	7団体	<申請金額5万円以下>:	4団体 170,000円
		<申請金額5万円を超える>:	3団体 718,000円
B区分 (サービスづくり)	6団体	<申請金額5万円以下>:	3団体 150,000円
		<申請金額5万円を超える>:	3団体 510,000円
C区分 (人づくり)	0団体	<申請金額5万円以下>:	— —
		<申請金額5万円を超える>:	— —
合計	13団体	1,548,000円	

(詳細はP32別表4を参照)

Ⅲ 災害ボランティアネットワークの推進 (重点項目)

1 『西区災害ボランティアネットワーク』の推進

(1) 災害ボランティア活動者の育成

災害ボランティアネットワーク会員のスキルアップを目的とした総会・定例会の開催、横浜市西区災害ボランティアネットワークの運営支援を行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止のため講座等の開催は中止となりました。
<定例会等の開催協力>

月日	内容	人数
6月20日(土)	定例会	5名
7月18日(土)	定例会	4名
書面審議	総会 ※賛成多数により可決しました	
8月15日(土)	定例会	5名
9月19日(土)	定例会・市民防災センター見学会	8名
10月17日(土)	定例会	7名
10月21日(水)	第一学院高校との連携打ち合わせ	8名
10月29日(木)	県立横浜平沼高等学校 地域貢献デーへの協力「防災学習」	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
11月21日(土)	定例会	7名
12月19日(土)	定例会	7名
1月16日(土)	定例会	緊急事態宣言発出のため中止
2月20日(土)	定例会	6名
3月20日(土・祝)	定例会	5名

Ⅳ 福祉啓発・福祉教育の推進

1 福祉啓発・福祉教育の推進

(1) 企業の地域貢献活動の支援

地域貢献活動を希望する企業からの相談を受け、区、地域ケアプラザと共に対応しました。企業側の活動提案と、区社協からは地域のニーズを伝え、今後の取組について検討を進めました。

(2) 福祉教育活動の相談調整

学校等からの相談に対応し、講師として協力したほか、講師紹介等を行い協力しました。

月日	依頼者	内容	延べ参加者数
10月29日(木)	神奈川県立横浜平沼高校	地域貢献デー (共同募金運動、災害ボランティア)	新型コロナウイルス感染 拡大防止のため中止
11月26日(木)	横浜市立浅間台小学校	福祉学習(車椅子体験)	約100名
12月2日(水)	横浜市立岡野中小学校	福祉学習(車椅子体験)	約50名
未定	横浜市立西前小学校	障害理解(ボッチャ体験)	新型コロナウイルス感染 拡大防止のため中止

(3) 福祉教育機材の貸出

学校・職場で福祉体験を行う際の車椅子等の備品を必要とする方へ貸し出しました。また、障害者施設の就労支援の目的も兼ね、NPO法人無限夢工房に車椅子の点検・清掃作業を年間を通して委託しました。

(件数)

機材名	車椅子	高齢者疑似 体験セット	妊婦体験 セット	アイマスク	白杖	点字器	ユニバーサル デザイングッズ
R2年度	29	1	1	5	3	1	2
R元年度	48	15	2	4	4	2	4

(4) 福祉教育の理解促進

先生のための福祉講座(18区社協共催)の開催

教員を対象に地域福祉や当事者への理解を深め、今後の学校教育に活かせる視点や手法等を修得することを目的に、横浜市教育委員会、横浜市社協及び18区社協合同で講座を企画していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

(5) 社会福祉士相談援助実習の実習生の受入

福祉分野で活躍する人材育成を目的に、社会福祉士資格取得を目指す実習生を受け入れ対応しました。

実習期間: 9月11日～10月23日

実習時間: 計24日間・180時間(うち1日は市社協で受入)

実習生: 日本社会事業大学3年生 1名

Ⅴ 総合相談

1 地域における権利擁護事業(あんしんセンター事業)の推進

判断能力や身体能力が不十分な高齢者や障害者が安心して日常生活を送ることができるように支援するため、権利擁護に関する相談に対して、関係機関と連携を取りながら対応しました。また、福祉サービス利用援助、定期訪問・金銭管理サービス、財産関係書類等預かりサービスを契約に基づき実施しました。

(1) 地域福祉権利擁護事業(あんしんセンター事業)

① 権利擁護に関する相談

ア) 件数

		高齢者			障害者			その他 不明	合計
		認知症	その他		身体	知的	精神		
R2年度	29	5	24	19	11	2	6	4	52
R元年度	28	4	24	14	2	1	11	2	44

イ) 内容(複数内容あり)

内容	金銭管理・財産 関係等預かり	計	今後の生活設 計	金銭・消費契約	相続・遺言	家族親類との 関係	財産侵害	問題 日常生活上の	隣人知人との 関係	福祉サー ビス利用	就業関係	成年後見制度	その他	合計
R2年度	53	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	55
R元年度	66	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	1	72

② 契約によるサービス(定期訪問・金銭管理サービス・財産関係書類等預かりサービス)

ア) 契約件数

	契約件数		新規契約件数 (他区からの移管含む)		終了件数 (他区への移管含む)	
	R2年度	R元年度	R2年度	R元年度	R2年度	R元年度
定期訪問・金銭管理サービス	35	37	9	12	11	12
高齢者	26	29	8	11	11	9
障害者	9	8	1	1	0	3
財産関係書類等預かりサービス	4	3	1	1	1	0
高齢者	3	2	1	0	1	0
障害者	1	1	0	1	0	0

終了理由 R2年度 死亡:6、成年後見:3、施設入所:1、本人申出:1
R元年度 死亡:5、成年後見:6、施設入所:1

イ) 相談等延べ件数

		R2年度	R元年度	比較増減
契約前対応 (電話・訪問他)	電話	221	239	△18
	来所	2	3	△1
	訪問	18	44	△26
	手続き援助等	9	3	6
	合計	250	289	△39
契約者対応 (電話・訪問・各種手続き他)	電話	2,421	2,402	19
	来所	20	23	△3
	訪問	583	594	△11
	手続き援助等	224	130	94
	合計	3,248	3,149	99
終了後対応	電話	24	37	△13
	来所	0	7	△7
	訪問	2	14	△12
	手続き援助等	6	2	4
	合計	32	60	△28

③ 広報・啓発活動

ア) 講座の開催

区・区社会福祉協議会、区内4地域ケアプラザ(地域包括支援センター)社会福祉士会が連携し、高齢者虐待防止、消費者被害をテーマに出前出張講座を開催しました。

月日・場所	内 容	人数
8月8日(土) 西区役所	消費者被害防止について 対象者:西区民生委員児童委員	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、リーフレット配架に置き換え
9月24日(木) 藤棚地域ケアプラザ	高齢者虐待防止、成年後見制度について 等 対象者:藤棚地域ケアプラザデイサービス職員	27名
10月23日(金) 藤棚地域ケアプラザ	高齢者虐待防止、擁護者支援について 等 対象者:区内事業者のケアマネジャー	15名

④ 西区役所及び地域ケアプラザ(地域包括支援センター)との連携

ア) 社会福祉士会への参加

権利擁護事業に関して情報交換を行うため、月1回の会議に出席しました。

イ) 成年後見サポートネット全体会への協力

西区役所が開催した成年後見サポートネット全体会に1回参加し、事前打ち合わせ、当日運営に協力しました。

ウ) 区内事業者 新人ケアマネジャー向け研修への参加

区内に事務所のある新人ケアマネジャー向けに、あんしんセンター利用の手続きや連携方法について説明しました。

エ) ケース検討会等の実施・参加

契約者への支援方法の確認や情報共有のため、ケース検討会を行いました。(随時)

(2) 市民後見人候補者、受任者への支援

成年後見制度の利用を必要とする高齢者や障害者の権利を擁護し、地域での生活を身近な市民が支える仕組みづくりを目指し、養成講座を受講した市民後見人候補者に対してフォローアップを行いました。

サポートネット分科会

西区役所や区内地域ケアプラザ社会福祉士、市民後見人バンク登録者とともにケース検討を行い、市民後見制度について見識を深める目的でしたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催は中止となりました。

2 生活困窮者等支援

(1) 生活福祉資金貸付事業

生活福祉資金:低所得者、障害者や日常生活上療養または介護を必要とする高齢者のいる世帯等に対して、資金の貸付と必要な援助を行い、その世帯の生活の安定と経済的自立を図ることを目的として実施しました。

総合支援資金:失業等、日常生活に困難を抱えており、生活の再建のために継続的な相談支援と生活費、一時的な資金貸付を委託事業として実施しました。

R2年度は新型コロナウイルスの影響による収入の減少や失業等により生活に困窮し日常生活の維持が困難となった世帯を対象として、緊急小口資金および総合支援資金(生活支援費)の〈特例貸付〉を実施しました。

① 貸付件数

新規相談 資金項目	貸付決定件数
総合支援資金	0
臨時特例資金	0
緊急小口資金	5
福祉資金(教育支援資金含む)	6
不動産担保(要保護含む)	0
生活福祉資金以外の制度	-
合計	11

〈新型コロナ 特例貸付〉

新規相談 資金項目	相談件数	申請受付件数
緊急小口資金 〈特例〉	2,416	延べ 1,116
総合支援資金 〈特例〉		延べ 1,009
合計	2,416	2,125

② 相談件数 ※ 特例貸付除く

相談項目 資金項目	制度内容相談			貸付相談			返済相談			合計
	面接	電話	その他 封書等	面接	電話	その他 封書等	面接	電話	その他 封書等	
総合支援資金	2	88	9	6	91	63	1	18	149	427
臨時特例資金	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
緊急小口資金	13	32	7	4	25	74	2	16	118	291
福祉資金(教育支援資金含む)	4	47	13	8	15	26	0	29	122	264
不動産担保 (要保護含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
生活福祉資金 以外の制度	16	26	31	/	/	/	/	/	/	/
R2年度合計	35	193	60	18	131	164	3	63	390	1,057
R元年度合計	69	471	488	146	228	151	7	85	265	1,910
比較増△減	△34	△278	△428	△128	△97	13	△4	△22	125	△853

(2) 生活福祉資金貸付世帯への支援取り組みの実施

月次報告を基に償還状況を確認、四半期ごとに担当民生委員への残高を確認する書類をお渡ししました。

生活福祉資金償還滞納ケースについて、担当民生委員と連携を図り対象ケースを整理、把握した世帯の状況に応じて、継続支援、懇談会等事業の実施、事務移管等の手続きを行いました。

内 容	件 数
住所不明調査(あて先不明で返送されてきた 借受者等)	13件

(3) 生活困窮者自立支援施策への対応

区生活困窮者自立支援事業担当課との情報交換等

月日	内容
8月 3日(月)	特例貸付延長受付にかかる事務の調整
9月11日(金)	第4期にこまちプラン各課取組についての意見交換

(4) 食料支援

区や個人から要請があった世帯について、状況をヒアリングして必要性を検討し、食糧支援を行っている団体を紹介しました。

食糧支援団体	件数
フードバンクかながわ	29件

VI 福祉ニーズのある方への支援

1 子育て支援

(1) 児童福祉関係分科会の開催

児童関係団体・施設を中心とした区社協会員の集まりである分科会を開催しました。今年度はコロナ禍の中での課題や工夫など、それぞれの対応状況について情報共有・意見交換を行いました。(詳細はP25参照)

(2) 子どもの居場所連絡会開催の準備等の実施

新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、子どもの居場所連絡会の実施はできませんでしたが、NTP児童のメンバーのみで集まり、今後の開催に向けて意見交換、情報共有を行いました。

(3) 親子ふれあい会への支援

各地区社協で行われている「親子ふれあい会」に対し活動費を助成しました(財源:共同募金配分金)。

地区名	金額
第二地区	33,000円
第六地区	42,000円
合計	75,000円

2 障害児・者支援

(1) 出会いの場づくり事業実施に向けた取組

新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、事業自体の実施はできませんでしたが、今後の開催方法の検討として、障害福祉関係分科会の場で、施設と分科会会場をオンラインでつなぎ、当事者の生の声を聴く場を設けました。

(2) 西区地域自立支援協議会への参画

区内の障害関係施設で構成する「西区地域自立支援協議会」の一員として、全体会議(年2回)の他、各種会議等に参加・協力しました。

参加会議名	内容
担当者会議	全参加施設の担当者の集まり
余暇支援部会	障害児者への余暇支援についての検討(新型コロナウイルスの影響により中止)
防災会議	災害時対応についての検討・施設見学等(オンライン開催)

(3) 障害者福祉関係分科会の開催

新型コロナウイルス感染拡大の状況を考慮しながら、障害児者関係団体・施設を中心とした分科会を開催し、コロナ禍における工夫や課題など、それぞれの対応状況を情報共有・意見交換を行いました。開催にあたっては、オンラインを活用し、来会の難しい当事者の方などにも参加できるような環境整備に取り組みました。

3 高齢者支援

(1) 高齢者福祉関係分科会の定例開催

高齢者関係団体・施設を中心とした区社協会員の集まりである分科会をコロナ禍の情勢を鑑みながら開催しました。今年度はコロナ禍の中での見守り活動の課題や工夫、高齢者福祉施設の感染予防の取組み、介護者としての家族の悩みなどの情報共有・意見交換を行いました。

(2) 関係機関との連携

担い手から受けた相談について、地域包括支援センターにつなげるなどの連携をしました。

(3) ふれあい会に対する支援

①「西区ふれあい福祉推進事業」の業務受託

西区役所からの業務を受託し、“ふれあい会”(高齢者見守り会)の申請・報告(年2回)の受付、確認作業や相談報告書の作成並びに見守り活動アンケートの実施を行いました。毎年開催しています研修会については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を見送りました。

ア) 報告・申請書類の受付について

報告・申請書類の受付 (4月・10月)	R元年度報告:53団体 R2年度申請 :53団体 相談報告書:19件
------------------------	--

イ) 事務説明会

毎年4月に提出していただく報告・申請方法等について令和3年3月に説明会を予定しましたが、緊急事態宣言下でもあり、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、書類送付によるご説明・周知といたしました。

② ふれあい会等を対象とした研修会の実施

ふれあい会活動等を行っている担い手を対象の研修会を企画・検討しましたが、感染拡大予防のため開催は見送りました。

③ 見守り活動アンケートの実施

コロナ禍での見守り活動の課題と各団体の工夫などを把握するため、R2 年度上半期報告受付時に各ふれあい会にアンケート調査を行いました。事務説明会(書面開催)時にアンケート結果について各団体に報告しました。

4 移送サービス事業

送迎ボランティアの協力により、通常交通手段では外出が困難な在宅高齢者や障害者の方を対象に送迎用福祉車両による送迎サービスを実施しました。横浜市の委託事業として介護保険対象者の通院等を目的とした「外出支援サービス」とそれ以外の方を対象とした区社協の送迎サービスの2本立てで実施しています。

※道路運送法第79条6及び同法施行規則第51条の10の規程に基づいた登録団体として実施

【登録番号】関神福第126号

(1) 利用状況及び登録者

① 利用内容

(件数)

利用内容	外出支援	区社協送迎	総数
R2年度 医療(通院等)	14	12	26
R2年度 福祉サービス利用 他	0	0	0
R2年度 合計	14	12	26
R元年度 合計	202	17	219
比較増△減	△188	△5	△193

※R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、区社会福祉協議会が運営する福祉有償事業において全区で70歳以上の運転ボランティアの活動を停止しました。それに伴い活動が可能なボランティアが減少し、利用者の希望に沿うことが難しい状況となりました。利用されている方には、手紙と電話にてその旨を説明し、ご理解いただきました。

② 新規利用登録者 (人数)

新規利用登録	外出支援	区社協送迎	総数
R2年度登録者	0	0	0
R元年度登録者	0	0	0
比較増△減	0	0	0

※R2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い、区社会福祉協議会が運営する福祉有償事業において全区で新規受け入れを停止しました。

(2) 送迎ボランティア育成・支援

① 送迎ボランティア登録者数

年度	人数
R2年度登録者	3
R元年度登録者	7
比較増△減	△4

② 送迎ボランティアミーティングの開催

送迎サービスの運転ボランティアを対象に情報提供・情報交換のためのミーティングを実施しました。

月日・場所	内容	参加人数
8月6日(木) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	○送迎サービス事故発生状況についての報告 ○事故発生時の手順、ドライブレコーダーの必要性について ○ボランティア活動保険について ○安全運転研修について ○情報交換 他	3名

③ 研修

西区社会福祉協議会で外部講師による「安全運転研修会」を開催し、ボランティアの方が参加しました。

月日・場所	内容	参加人数
11月19日(木) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	○運転適性検査(警視庁K2方式) ○視力検査 ○安全運転講習(座学) ○評価、意見交換 他	3名

5 交通遺児等への支援

(1) 交通遺児援護金の交付

区内の20歳未満の交通遺児を抱える世帯に対し、事故見舞金や入学・卒業の激励金を交付する事業ですが、令和2年度は0件でした。

(2) 低所得者援護費の給付

行路病人に対して援護金を区民児協が給付しました。

給付件数		内容	金額
R2年度	27件	旅費27件	9,680円
R元年度	43件	旅費43件	12,110円
比較増△減			△2,430円

(3) 小災害見舞金の交付

区内で小災害(台風、火事等)に被災された世帯に対し見舞金を交付しました。

災害発生日	件数・内容	金額
6月18日(木)	火災 2件、死亡 1件	15,000円
2月20日(土)	火災 1件	5,000円
3月 6日(土)	火災 6件	30,000円
R2年度 合計	火災 9件、死亡 1件	50,000円

R1年度 合計	火災 2件、風水害 29件	155,000円
---------	---------------	----------

6 移動情報センター

障害のある方やご家族、支援者等からの移動に関する相談に応じて、サービス事業者やボランティア等の紹介・コーディネートを行いました。また、ガイドボランティア事業として、移動支援に関わるボランティア等の発掘・育成に向けた取り組みを行いました。その他、広報紙やホームページ等を活用した移動情報センターの周知、サービス事業者等の移動支援に関する情報の収集・更新に努めました。

※横浜市より業務委託を受け、平成30年1月から「西区移動情報センター」を開設しています。

(1) 相談対応・コーディネート

相談件数:67件

障害種別:

身体	知的	精神	その他
12件	40件	11件	4件

相談内容:

通院等必要不可欠な外出	余暇等社会参加のための外出	通学	通所	制度説明	その他
9件	9件	16件	24件	1件	8件

調整件数:654件

電話	メール、FAX等	来所	訪問	フォローアップ
601件	13件	26件	14件	129件

(2) 移動情報センター推進会議の開催

月日	内容	人数
9月(書面協議)	○相談実績・対応状況について ○R元年度事業計画・年間予定について	—
12月(書面協議)	○相談実績・対応状況について ○下半期の取組について(センター周知、ガイドボランティア募集 他) ○今後の移動所法センターの取組・方向性について (当事者の参加、重心アンケート、障害理解・啓発 他)	—
3月(書面協議)	○相談実績・対応状況について ○広報用事例紹介(チラシ)について	—

(3) 横浜市ガイドボランティアの養成・コーディネート

ボランティアによる付き添いの相談に対して、既存のガイドボランティアだけでなくボランティアセンターと連携しての調整を行いました。また、相談者の近隣地域にて、自治会町内会や民生委員へ相談するなど、新規ボランティア募集を図りました。

コーディネート後は、ガイドボランティアと支援対象者との初回顔合わせや慣れるまでの活動へ同行、活動後の状況確認など、活動が安心できるとともに、疑問を解消しながら経験を重ねていけるように努めました。

①登録者数:

支援対象者	ガイドボランティア
19名	26名

②活動状況: 【通学】167件 【通所】49件 【一般】34件 【余暇】0件

※上記活動状況に含まれない件数として、以下の活動あり

- 西区の支援対象者に対する他区のガイドボランティア登録者による活動
- 西区のガイドボランティア登録者によるガイドボランティア事業対象外のボランティア活動

VII 福祉情報発信機能の充実

1 広報紙の発行・ホームページの活用

(1) 広報紙の発行

区社協のPRや地域の福祉活動の紹介、ボランティア関係情報の提供を通じて、区民に福祉への理解を深めてもらうことを目的としてタウンニュース紙面に掲載し、年2回発行しました。西区内のタウンニュース中・西版が届かない地域へは戸別にお届けするとともに、区内施設等へ配架を依頼し、広報を行いました。

① 広報紙「もくせい」の発行

発行月	内容	発行部数
7月 (第80号)	○ジョンソン株式会社様から多額のご寄付をいただきました ○社協からのお知らせ(各種講座・イベント情報等) ○その他: 令和元年度事業報告・決算、令和2年度事業計画・予算、賛助会員・善意銀行のお礼 他	43,500部
1月 (第81号)	○障害のある方のための外出相談窓口 ○社協からのお知らせ(フードドライブ、助成金案内 等) ○その他: 赤い羽根共同募金、賛助会員・善意銀行のお礼 他	43,500部

(2) ホームページの活用

区社協PRやボランティア講座等の周知に活用すると共に、随時更新しました。また併せてフェイスブックページの作成を行い、随時更新を行いました。

西区社協ホームページ(http://www.yoko-nishishakyo.jp/)	
西区社協フェイスブック(https://www.facebook.com/yokonishisya)	
R2年度更新回数	40回
R元年度更新回数	108回

VIII 西区地域福祉保健計画の推進

1 第3期西区地域福祉保健計画の推進

平成22年度より「西区社協地域福祉活動計画」と「西区地域福祉保健計画」を一体的に策定しています。

令和2年度は「第3期西区地域福祉保健計画(にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン)の5年目となり、区役所・地域ケアプラザとともに地区支援チームの一員として計画を推進・支援しました。

(1) にこまち助成金の配分（再掲）

横浜市に寄附された約1億円を財源とし平成22年に設置された「にこまち基金」事業として、にこまちプラン(西区地域福祉保健計画)を推進していく活動を支援するため、つぎの団体へ助成しました。

(①申請金額が5万円以下のもの(会長決裁で決定) ②申請金額が5万円を超えるもの(審査委員会)

申請区分	団体数	助成金額	
A区分 (まちづくり)	7団体	<申請金額5万円以下>:	4団体 170,000円
		<申請金額5万円を超える>:	3団体 718,000円
B区分 (サービスづくり)	6団体	<申請金額5万円以下>:	3団体 150,000円
		<申請金額5万円を超える>:	3団体 510,000円
C区分 (人づくり)	0団体	<申請金額5万円以下>:	— —
		<申請金額5万円を超える>:	— —
合計	13団体	1,548,000円	

(詳細はP32別表4を参照)

(2) NTP(にこまちトライプロジェクト)による事業展開

テーマ別に(高齢、障害、子ども)区全体の課題解決に向けて、「NTP(にこまちトライプロジェクト)」と称して具体的な取り組みを行いました。

【高齢分野】

ハマのオヤジゼミナールの開催

退職後またはこれから定年を迎える男性などを対象に、地域での仲間づくりやボランティア活動へつながるきっかけづくりとして、導入編の講座を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

「つながる！ボランティア入門講座」

1月15日(金) 福祉保健活動拠点 フクシア	「つながる！ボランティア入門講座」 ※上記入門講座と、退職後またはこれから定年を迎える男性などを対象に、地域での仲間づくりやボランティア活動へつながるきっかけづくりとして例年開催する『ハマのオヤジゼミナール』事業と兼ねて企画しました。	中止 (緊急事態宣言 下のため)
------------------------------	--	------------------------

【障害分野】

出会いの場づくり事業実施に向けた取り組み

新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、出会いの場づくり事業自体の実施はできませんでしたが、今後の開催方法の検討として、障害福祉関係分科会の場において、施設と分科会会場をオンラインでつなぎ、当事者の生の声を聴く場を設けました。

【子ども分野】

連絡会準備等の実施

子どもに関する施設職員、地域の活動者、区、ケアプラザが集まり、学齢期の子どもの居場所づくりを進める目的で意見交換、居場所情報交換会の企画を行いました。

月日	検討メンバー
第1回 11月4日(水)	9名

(3)にこまち講座の開催(区との共催)

西区地域福祉保健計画(にこまちプラン)の推進に向け、9月に「地域共生社会についての理解啓発」を趣旨とした講座を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から次年度へ延期となりました。

(4) にこまちフォーラム

例年、「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」の第3期計画取組推進に向けての基調講演と発表会を西区役所・地域ケアプラザと共催で開催していましたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催については延期となりました。

2 地区支援チームへの参画

各地区が地区別計画を推進するにあたり、区役所・地域ケアプラザ・区社協が地区支援チームとして協働し、チームでの打合せや各地区別懇談会等へ参加しました。

3 第4期西区地域福祉保健計画策定に向けた検討

第4期西区地域福祉保健計画(にこまちプラン)策定のために、区役所所管課と協働して、定例の打合せ会議や第4期計画策定の検討作業を行いました。

月日・内容
<p>■第4期計画策定に向けた検討</p> <p>第4期計画の策定検討のために、地域活動団体や福祉保健活動団体の代表者で構成される「西区地域福祉保健計画策定検討会」を開催しました。</p> <p>第1回: 8月 3日(月) 「策定スケジュールおよび第4期計画の考え方」 意見交換: 第4期に向けた課題や取り組むべき点</p> <p>第2回: 11月 2日(月) 「第4期区全体計画の取組の全体像について」 意見交換: 目標1~5の具体的取組について</p>
<p>■第4期区全体計画策定に向けた検討</p> <p>第4期区全体計画の策定に向けて、区社協の取組についての策定シートを作成。その後、区役所各課の取組ヒアリングに同席し、意見交換をおこないました。</p> <p>9月 7日(月) : 子ども家庭支援担当 9月11日(金) : 生活支援担当 9月17日(木) : 障害支援担当/高齢支援担当</p>
<p>■定例打合せ</p> <p>愛知東邦大学の西尾敦史教授を、「にこまちプラン策定アドバイザー」に迎えて、第4期計画策定の過程について協議を行いました。</p> <p>第1回: 4月20日(月) 第2回: 7月13日(月) 第3回: 10月9日(金)</p>

IX 横浜市西区福祉保健活動拠点「フクシア」の運営（重点項目）

1 拠点の管理・運営

平成29年度より第3期の指定管理者となり、「地域における市民の自主的な福祉保健活動のための場」として多くの方に活用いただけるよう運営を行いました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため各部屋に飛沫防止用のアクリル板パネル、加湿器・空気清浄機を設置し、安心してご利用いただけるよう整備しました。

(1) 登録状況

①利用登録団体 250団体

ボランティア・市民活動団体	障害児者等当事者団体	その他 (地域団体、福祉保健職域団体)
108団体	47団体	95団体

②メールボックス使用団体 24団体（24個中）

③ロッカー使用団体 40団体（40個中）

(2) 利用状況

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため R2.4. 1～R2.5.31 終日閉館、
R2.6. 1～R2.6.30 17時閉館
R3.1.12～R3.3.21 20時閉館

部屋名	利用件数・利用率				比較増減
	R元年度		R2年度		
団体交流室	935件	60.6%	460件	42.7%	△475
多目的研修室	825件	72.4%	576件	67.0%	△249
点字製作室	608件	54.2%	166件	19.6%	△442
録音室	102件	9.8%	105件	12.8%	3
対面朗読室・編集室	679件	57.5%	277件	31.0%	△402
全体	3,149件	50.8%	1,584件	35.5%	△1,565

(3) 利用調整会議

令和3年4月1日からの貸室利用方法の変更に伴い、「令和2年度改訂版利用の手引き」と共に利用に当たっての注意事項を伝達することを目的として実施しました。また、新型コロナウイルス拡大防止の観点から複数回に分けて人数制限をして開催し、ロッカー・メールボックスの抽選については集合型ではなく公開形式で実施しました。

月日・場所	内容	参加数
9月13日(日)・14日(月)・15日(火) 西区福祉保健活動拠点	○貸室利用方法の変更について ○新型コロナウイルス感染症拡大防止の対応について	22団体 24名
2月19日(金) 西区福祉保健活動拠点	○ロッカー・メールボックスの抽選	書面にて実施

(4) 意見箱の設置

団体交流室に市社協のシステムである「ご意見箱」を設置。いただいたご意見に対して改善等を行いました。

(5) 個別専門相談「よこはま LGBT 相談」の共同開催について

横浜市市民局人権課及び特定非営利活動法人 SHIP と連携した相談会を定期的にも実施、性的少数者支援を行いました。

相談日：12日(毎月1回)

相談件数：10件

2 ボランティア等の地域福祉保健活動に関する相談及び育成

福祉保健活動拠点の利用団体に対して、ボランティアに関する相談(活動先の紹介、ボランティア保険の案内など)やボランティア講座の案内、助成金制度の案内等を通じて活動の発展・啓発を図りました。

また、フードドライブや善意銀行への寄付物品について、活動の一助としてもらうため、必要とする団体に適宜アナウンス・配分しました。

X 法人運営

1 事業推進体制の充実

(1) 会員

① 正会員

社会福祉施設	33
民生委員児童委員	124
地区社会福祉協議会	6
地区連合自治会・町内会	6
自治会町内会	93
障害者団体等当事者団体	13
ボランティア・市民活動団体	17
社会福祉関係団体	19
行政機関	4
学識経験者	1
正会員合計	316
正会員会費合計①	1,047,000 円

② 賛助会員

法人・団体	68
個人	100
賛助会員合計	168
賛助会費合計②	法人・団体 399,000 円 個人 260,000 円 = 659,000 円
会費合計	① +② 1,706,000 円

② 会員の拡充

区社協の持つネットワークを広げ、地域における活動支援をより積極的に進めるため、会員拡充を図りました。

入会団体 :4団体

(2) 部会・分科会・委員会

会員同士の交流や課題検討、助成金審査等のため、各種会議を開催しました。

① 分科会

【地区社協分科会】

地区社協会長・副会長、事務局長等、地区社協役員の方が広く出席し、地区社協間の意見交換 課題検討を行いました。(年6回開催) ※緊急事態宣言の期間は開催を中止しました

月日	主な議題	結果	人数
6月25日(木)	○令和2年度地区社協助成金、賛助会費について ○令和2年度西区社協事業について ○地区社協等への寄付金配分について 他	全て承認された	26名
7月30日(木)	○企業等からの各所寄贈物品について ○「にこまちプラン」の進捗状況について ○これからの地域活動について【意見交換】 他		23名
9月24日(木)	○西区社協功労者表彰候補者の推薦について ○地区社協全体会の事例報告について ○共同募金運動について ○地区社協カレンダーについて ○西区福祉保健活動拠点貸室利用方法の改正について ○コロナ禍でのこれからの地域活動に向けて【意見交換】 他		28名
10月22日(木)	○青少年交流活動スペース「さくらリビング」について ○児童家庭支援センター「らいく」について ○共同募金と年末たすけあい募金について ○第4期にこまちプラン地区別計画の策定状況について ○社会福祉実習生の発表 他		33名
12月24日(木)	○年末たすけあい募金助成金について ○地区社協カレンダーについて ○つながりが生み出すにやかな暮らし～身近な地域の取組紹介【報告】 ○地区社協検討会報告 ○生活支援資金特例貸付状況について 他		23名
1月28日(木)	*新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		-
3月23日(火)	○理事・各所委員候補者の推薦について ○次年度地区社協分科会・研修会、助成金等について ○地域で見守りガイドブック取組報告について ○地区社協助成金申請・報告について ○区社協各種助成金情報について 他		25名

※場所は、10月は青少年交流活動スペース「さくらリビング」
そのほかは、すべて西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

【高齢者福祉関係分科会】

月日	議 題	結果	人数
7月22日(水)	○本年度区社協事業計画について ○情報交換・意見交換 他	全て承認 された	11名
10月28日(水)	○コロナ禍での各団体・施設の活動状況と課題について ○第4期西区地域福祉保健計画について 他		14名
3月29日(月)	○理事・評議員候補者の推薦について ○本会次年度事業計画について 他		7名

※場所はすべて西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

【障害福祉関係分科会】

月日	議 題	結果	人数
7月31日(金)	○本年度西区社協事業計画について ○新型コロナの影響及び自粛期間中の活動について ○本年度分科会について 他	全て承認 された	25名 (19団体)
10月23日(金)	○コロナ禍における障害者支援の取り組みについて ○出会いの場づくり事業について 他		26名 (16団体)
3月26日(金)	○理事・評議員候補者の推薦について ○次年度西区社協事業計画(案)について 他		15名 (10団体)

※場所はすべて西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

【児童福祉関係分科会】

月日	議 題	結果	人数
8月25日(火)	○本年度西区社協事業計画について ○本年度分科会の活動について ○新型コロナの影響、自粛期間中の活動について 他	全て承認 された	17名
3月26日(金)	○理事・評議員候補者の推薦について ○次年度西区社協事業計画(案)について 他		6名

※場所はすべて西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

【ボランティア・市民活動分科会】

月日	議 題	結果	人数
9月28日(月)	○令和2年度 区社協事業計画について ○情報交換・意見交換 など	全て承認 された	14名

※場所はすべて西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

② 委員会

【社会福祉功労者表彰審査会】

月日	議 題	結果	人数
11月17日(火)	○第39回西区社会福祉功労者被推薦者の審査について	全て承認された	7名

【助成金等審査委員会】

月日	議 題	結果	人数
6月30日(火) (決議の省略で実施)	○令和元年度西区社協ふれあい助成金配分結果について ○令和元年度西区社協会員助成金配分結果 ○令和2年度西区社協ふれあい助成金交付審査について ○令和2年度西区社協会員助成金交付審査について	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、委員全員の文書による同意を得て決議された。	
11月19日(木)	○令和2年度 第1回助成金等審査委員会 報告について ○年末たすけあい募金助成の審査について ○令和2年度 年末たすけあい募金 地区社協助成について	全て承認された	6名

【にこまち助成金審査委員会】

月日	議 題	結果	人数
6月26日(金)	○前回審査委員会の報告について ○令和2年度にこまち助成金 第2回受付分の審査について ○にこまち助成金の課題検討について ～助成金制度／実施要領改正に対する意見収集～	全て承認された	7名
8月20日(木)	○にこまち助成金の課題検討について ～助成金制度／実施要領等の改正について検討～		7名
10月30日(金)	○にこまち助成金の課題検討について ～助成金制度／実施要領等の改正について検討～ ～様式／周知チラシ(案)に対する検討～		7名
3月19日(金)	○令和3年度にこまち助成金 第1回受付分の審査について ○にこまち助成金の課題検討について ～コロナ禍における助成金精算<特例>ルールの検討～		4名

【ボランティアセンター運営委員会】

月日	議 題	結果	人数
8月24日(月)	○令和元年度ボランティアセンター事業報告について ○令和2年度ボランティアセンター事業予定について ○善意銀行配分金について ○ボランティアコーディネイトについて	全て承認された	5名
2月22日(月)	*新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催延期		—

【評議員選任・解任委員会】

月日	議 題	結果	人数
第1回 6月14日(日) ※決議が承認された日	1. 評議員の選任について	全て承認された	4名

2 理事会・評議員会等

(1) 理事会・評議員会・監事会

① 理事会

※すべての議題等について承認、または確認されました。

月日	議題	人数・結果
第1回 6月 (決議の省略で実施)	1. 令和元年度事業報告並びに決算案について 2. 監事監査報告について 3. 評議員選任 解任委員会の招集 並びに 本会評議員選任候補者の推薦について 4. 定時評議員会の招集並びに議題について	新型コロナウイルス 感染拡大防止のため、理事全員の文書による同意を得て決議された。
第2回 11月5日(木)	1. 会員の入会について 2. 令和2年度補正予算案について 3. 第39回西区社会福祉功労者表彰式について 4. 西区福祉保健活動拠点「フクシア」次期指定管理者応募について 5. 評議員会の招集並びに議題について	理事10名 監事 2名
第3回 3月 (決議の省略で実施)	1. 会員の入会について 2. 令和3年度事業計画案並びに予算案について 3. 令和2年度補正予算案について 4. 役員等賠償責任保険契約の内容について 5. 評議員選任 解任委員会運営規則の一部改正について 6. 評議員会の開催(決議の省略)並びに議題について	新型コロナウイルス 感染拡大防止のため、理事全員の文書による同意を得て決議された。

※第2回の場所は西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

② 評議員会

※すべての議題等について承認、または確認されました。

月日	議題	人数
第1回 6月 (決議の省略で実施)	1. 令和元年度事業報告並びに決算案について 2. 監事監査報告について	新型コロナウイルス 感染拡大防止のため、評議員全員の文書による同意を得て決議された。
第2回 12月2日(水)	1. 令和2年度補正予算案について 2. 職員就業規程の改正について	評議員16名 監事 2名
第3回 3月 (決議の省略で実施)	1. 令和3年度事業計画案並びに予算案について 2. 令和2年度補正予算案について 3. 経理規程の一部改正について	新型コロナウイルス 感染拡大防止のため、評議員全員の文書による同意を得て決議された。

※第2回の場所は西区福祉保健活動拠点「フクシア」です。

③ 監事会

※すべての議題等について承認、または確認されました。

月日・場所	内容	人数
5月27日(水) 西区福祉保健活動拠点「フクシア」	1. 令和元年度事業報告・決算(案)について	監事 3名

2 適切な法人運営

(1) 適切な法人運営

① 個人情報の適切な管理

「個人情報保護法」と区社協「個人情報の保護に関する規程」に則り、適切な個人情報の管理を行いました。

② 情報公開

「社会福祉法」及び本会「情報公開に関する規程」に則り、適切な情報公開を行いました。

R2 情報公開請求 0 件

③ 苦情受付

「苦情解決規程」に則り、受付体制を整えています。R2 受付件数 0 件

(2) 職員の資質向上等

人材育成計画に基づき、法人内研修の他、外部機関が実施する研修等へ積極的に参加し、能力開発・資質の向上に努めました。

(3) 区社協活動財源の確保

① 区社協事業の見直し

持続可能な組織運営と財政の健全化に向け、収入に見合った事業の見直しを行うとともに、事業費・事務費の経費削減の徹底を図りました。

② 区社協活動財源の確保

会費・賛助会費・共同募金・年末たすけあい募金等の自主財源確保に努めるとともに、地域の福祉活動を支援する財源確保に努めました。

3 社会福祉充実計画

社会福祉充実計画の推進

平成29年度に策定した社会福祉充実計画に沿って実施しました。

(1) 社会福祉功労者表彰(永年勤続者表彰)

区内で地域福祉活動やボランティア活動、福祉施設や事業所等で勤務する職員(常勤及び非常勤職員)で功労のあった方に対し、表彰式典を開催予定でしたが、緊急事態宣言下のため式典開催は控え、受賞者に表彰状・記念品の贈呈を行いました(郵送)。

月日・場所	内容	人数
2月13日(土) 西区福祉保健活動拠点 「フクシア」	※緊急事態宣言下のため式典の開催は中止 受賞者 ・地域福祉活動功労者 42名 ・永年勤続者(常勤) 12名 ・永年勤続者(非常勤) 7名	—

(2) 社会福祉施設等への書籍配布

社会福祉施設従事者等を対象とした研修を予定していましたが新型コロナウイルス感染拡大防止のために研修会を中止し、社会福祉施設長等が施設を運営する上で必要な人事・労務管理・社会福祉施設の役割(使命)に関する内容をまとめた書籍を各施設に配布しました。

X I 福祉関係団体への運営協力・支援

次の福祉関係団体と連携及びサポートを行いました。

神奈川県共同募金会横浜市西区支会	日本赤十字社横浜市西区地区委員会
西保護司会	西区更生保護女性会
西区遺族会	